

電子版センターだより

Gunma Prefectural Education Center
群馬県総合教育センター - No.28 -

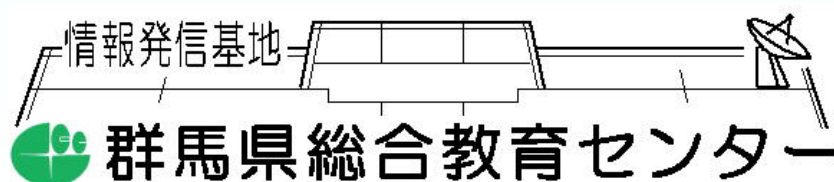


令和3年7月14日(水)配信

<掲載内容>

	頁
1 研修講座の御案内	1
2 1人1台端末の活用に向けたサポート	2
3 特別支援教育センター：指導資料の御紹介	3
4 夕やけ保育研修会について	4
5 小・中学校初任者研究チーム方式について	5
6 子ども教育相談室の御紹介	6
7 「第19回 ぐんま教育賞 杉の子賞」の募集	7
8 当センターへ来所される方へ	8

編集後記



研修講座の御案内

新しい受講形態の御紹介

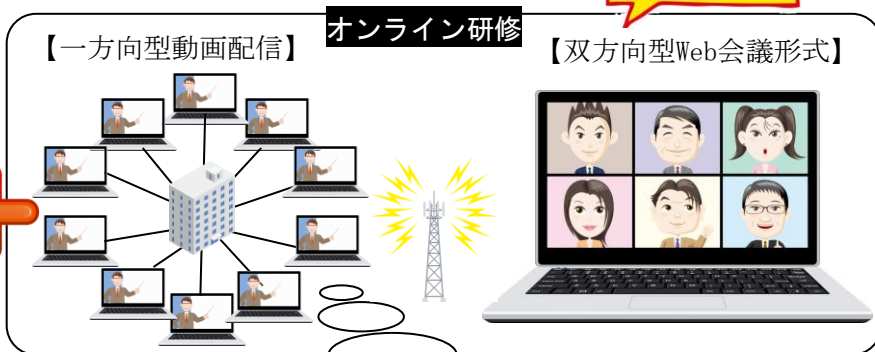
当センターでは学び続ける先生方を全面的にバックアップするため、先生方のニーズや講座内容・社会情勢等に応じて受講形態を工夫し、質の高い学びを保障します。今年度は特に、GIGA スクール構想の実現に向けて ICT を活用した研修の充実に力を入れています。予定の受講形態に変更が生じる場合もございます。必ず当センターの Web ページを確認した上で各講座に御参加ください。

今後はそれぞれの受講形態のよさを生かしたハイブリッド型研修で、学校や先生方を支えていきます。

<従来の主な受講形態>



<新しく加わった受講形態>



～オンライン研修を受講した先生方の感想～



はじめはうまく使えるか不安でしたが、使用しているうちに慣れました。学びの原点に立ち返ることができました。



一人の空間で集中して学べるのがとても良かったです。聞き逃した所をYouTubeで戻って再生できたのは便利でした。

他にもこんなよさが…



移動時間不要



ペーパーレス化



感染症対策



出張費用不要

チャットでいろいろな意見を知ることができたのが参考になりました。オンライン上でのグループ協議も新鮮で、スムーズに意見交換できました。



特色ある講座の御案内

「ぐんま教職員キャリアアップ研修講座」

※講義ごとの申込みも可能

急速に変化する社会に対応した教育の在り方を理解するとともに、学校運営への参画意識や実践的指導力を高め、同僚や地域と協働して教育活動を推進する力を身に付けます。

期日	講義・内容等	時間・形態
11/26 (金)	講義「学校におけるリスク・マネジメント」 講師 群馬大学大学院教育学研究科 准教授 高橋 望	14:30～ オンライン研修
1/20 (木)	講義「学校運営への参画と組織的な取組の推進」 講師 (学) 有坂中央学園 副理事長 中島 慎太郎	13:15～ 集合研修
	講義「企業や社会で必要とされる力」 講師 (株) フジサワ 代表取締役 藤澤 星	



この他にも様々な希望研修講座があります。希望研修は、開催日の3週間前まで申込みができます。先生方自身の「学びに向かう力、人間性等」を磨き、児童生徒への還元を図っていきましょう。是非、追加申込みをお待ちしております。

1人1台端末の活用に向けたサポート

1 ICT活用教育サポートサイトについて

GIGAスクール構想により、1人1台端末の導入が急速に進んでいます。当センターでは、各学校におけるICT活用教育の推進を支援するため、ICT活用教育サポートサイト（G. ICTサイト）を運用しています（令和3年4月から）。

活用事例や研修用の動画コンテンツ等、随時掲載していきますので、是非、御活用ください。



群馬県ICT活用教育サポートサイト

ホーム

- FAQ（頻繁な質問）
- 活用のイメージ作り
- 活用事例（授業、校務等）
- Googleサービスの活用
- スタディサプリの活用
- 活用のための研修

リンク

- 群馬県教育委員会
- 群馬県総合教育センター
- GIGAスクール構想（文科省）
- StuDX Style（文科省）
- EdTechライブラリー（経産省）
- Google 検索情報
- Microsoft365 検索情報
- Zoom 検索情報

群馬県ICT活用教育サポートサイトへようこそ！！

このサイトは、1人1台端末の有効な活用に向けて、教職員の皆さん（コンテンツによっては児童生徒も活用可能）をサポートするサイトです。

各種マニュアルや端末のトラブル対応等の情報を掲載していきます。



FAQ
（頻繁な質問）



活用のイメージ作り



活用事例
（授業、校務等）



Googleサービス
の活用（マニュアル等）



スタディサプリの活用
の活用（マニュアル等）



活用のための研修
（Webセミナーの動画等）

群馬県ICT活用教育サポートサイト

<https://ict-support.gsn.ed.jp/>



□掲載内容（抜粋）

○FAQ

端末やネットワークトラブルへの対応や、端末の操作方法等について、掲載しています。

○活用事例

活用の参考になる資料、県内のモデル校や先進校の実践事例等を掲載しています。

○活用のための研修

1人1台端末の活用やGIGAスクールにおける情報活用能力の育成等について、Webセミナーの動画を掲載しています。

2 ICT活用指導力向上研修講座について

ICT活用指導力向上研修講座では、1人1台端末やクラウドサービスを活用した授業作り等について研修を実施しています。これから申込みが可能な研修内容もありますので、研修講座案内や総合教育センターWebページ（研修講座）で確認していただき、是非、受講してください。

実施日	時間	講義名	研修方法
7/28（水）	15:35～16:30	【発表】1人1台端末を活用した授業実践例（高）	オンライン
7/29（木）	〃	【発表】1人1台端末を活用した授業実践例（特）	〃
7/30（金）	〃	【発表】1人1台端末を活用した授業実践例（小）	〃

※「【発表】1人1台端末を活用した授業実践例（中）」は7月8日（木）に実施しました

-2-

特別支援教育センター：指導資料の御紹介

特別支援教育センターでは、特別支援教育の推進に役立つ資料を発行しています。今回は、校内研修等で是非活用してほしい資料として、「知的障害のある児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けて」を紹介いたします。なお、紹介する資料は当センターWebページからダウンロードできるようになっています。【<https://center.gsn.ed.jp/tokushi>】

指導資料の御紹介

「知的障害のある児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けて」

学習指導要領の改訂に伴い、群馬県教育委員会では、主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、令和元年に「はばたく群馬の指導プランII」を作成しました。

そこで、知的障害のある児童生徒が在籍する学級や学校における主体的・対話的で深い学びの実現に向けてのポイントや例を示し、先生方に活用していただけるリーフレットになっています。

【Point】

授業づくりの基本や留意点、また、「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けた授業となっているか、自分で振り返ることができる内容です。

知的障害のある児童生徒の
主体的・対話的で深い学びの実現に向けて



学習指導要領の改訂に伴い、群馬県教育委員会では、主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、令和元年に「はばたく群馬の指導プランII」を作成しました。

そこで、知的障害のある児童生徒が在籍する学級や学校における主体的・対話的で深い学びの実現に向けてのポイントや例を示し、先生方に活用していただけるよう、リーフレットを作成しました。

群馬県総合教育センター
令和3年3月

研修講座の御案内

著名な教授の研修講座を設定しました。一人でも多くの先生方の申込みをお待ちしています！
※申し込む場合には、0270-26-9218(特別支援研究係)へ一報入れていただいてから学校を通してお願い致します。

特別支援教育充実研修講座 ※期日選択あり		
7/30 (金)	講義「特別支援教育におけるICT機器を活用した授業づくり」 講師 帝京大学 教育学部 初等教育学科 教授 金森 克浩	ライブ配信 (一方向) 13:30 ~ 15:45 (13:10より接続開始)
8/3 (火)	講義・演習「障害特性に応じた自立活動の指導」 講師 東洋大学 ライフデザイン学部 教授 是枝 喜代治	ライブ配信 (一方向) 9:15 ~ 12:15 (8:55より接続開始)

夕やけ保育研修会について



幼児教育センターでは、幼児教育や家庭教育、幼保こ小の連携・接続をめぐる課題を解決し幼児期の教育の充実を図るため、幼児教育施設・小学校・特別支援学校等の教職員や子育ての支援者の皆様を対象とした夕やけ保育研修会を実施しています。

今年度は8回のオンライン研修を企画いたしました。特別講演会は、12月27日（月）に、玉川大学准教授・東一の江幼稚園長の田澤里喜先生に御講演いただきます。皆様の御参加をお待ちしています。

令和3年度 夕やけ保育研修会

(1) 幼児期の教育について		15:15~16:50(オンライン)	
7/2(金)	「幼児期の教育」において特に重視したい考え方、保育者の役割、社会からの要望、家庭や小学校との接続についての課題等を含めながら、各講師の経験やお立場からお話を伺います。	保育アドバイザー	渡邊 俊 氏
10/13(水)		保育アドバイザー	田子 文子 氏
11/9(火)		元高崎健康福祉大学 教授	高梨 珪子 氏
11/30(火)		保育アドバイザー	塩崎 政江 氏
(2) 子育ての支援について		15:15~16:50(オンライン)	
10/29(金)	「コロナ禍における子育て支援の現状と課題」	NPO法人 時をつむぐ会内「びよびよの会」代表	横山 由美子 氏
(3) 発達の理解と保育について		15:15~16:50(オンライン)	
8/23(月)	「気になる幼児の理解と支援」	NPO法人リンケージ理事長	石川 京子 氏
9/3(金)	「乳幼児の発達の理解と保育」	群馬大学大学院 准教授	大島 みずき 氏
(4) 特別講演会		14:00~16:00(オンライン)	
12/27(月)	「遊びの重要性と保育者の関わり」	玉川大学 准教授 東一の江幼稚園 園長	田澤 里喜 氏

夕やけ保育研修会 申込方法

幼児教育センターWebページの申し込みフォームから、お申込みください。

幼児教育センター
Webページ

R3_夕やけ保育研修会_御案内

参加申し込み(下の日付をクリックして申し込みフォームからお願いします)

(1) 幼児期の教育について

- ★7月2日(金)講師: 保育アドバイザー 渡邊 俊 氏
- ★10月13日(水)講師: 保育アドバイザー 田子 文子 氏
- ★11月9日(火)講師: 元高崎健康福祉大学教授 高梨 珪子 氏
- ★11月30日(火)講師: 保育アドバイザー 塩崎 政江 氏

(2) 子育ての支援について

- ★10月29日(金)講師: NPO法人時をつむぐ会内「びよびよの会」代表 横山 由美子 氏

(3) 発達の理解と保育について

- ★8月23日(月)講師: NPO法人リンケージ理事長 石川 京子 氏
- ★9月3日(金)講師: 群馬大学大学院准教授 大島 みずき 氏

(4) 特別講演会

- ★12月27日(月)講師: 玉街大学准教授 東一の江幼稚園園長 田澤 里喜 氏

申し込みたい月日、または、講師名をクリックすると、申し込みフォームが開きます。

お問い合わせ先: 群馬県総合教育センター 幼児教育センター TEL: 0270-26-9203 (直通)

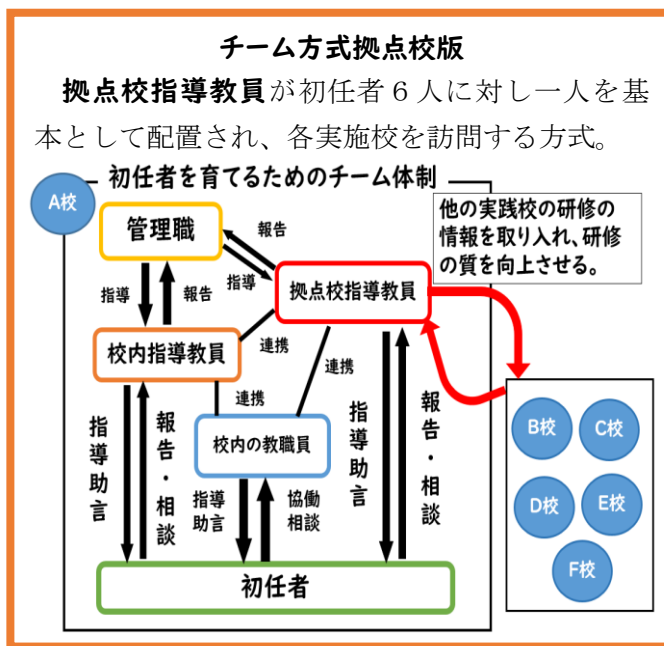
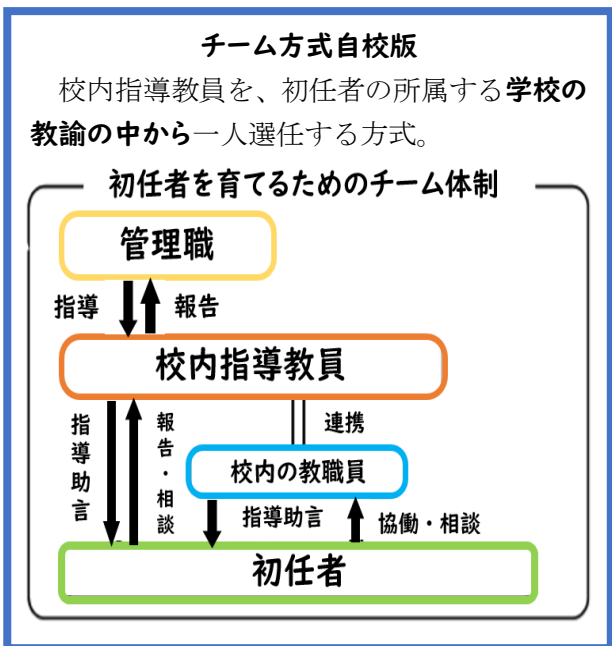
幼児教育センターWebページはこちら→【 <https://center.gsn.ed.jp/yokyo> 】

小・中学校初任者研修チーム方式について

1 初任者研修チーム方式とは

初任者研修チーム方式とは、職務を進める中で初任者の職能成長を図ることを意図した研修方式です。初任者は、指導教員等からの直接的な関わりや、職務を進める中で生まれる他の教職員との多様な関わりを通して実践的に学びます。このチーム方式を通して、日常の実践と研修を結び付けた、実践的で効率的な研修の実現を目指しています。チーム方式では、研修の内容や工夫によって、質を保持しつつ、研修時間の削減を行っています。【従来】180時間以上→【チーム方式】110～140コマ

2 チーム方式自校版とチーム方式拠点校版について



3 初任者研修におけるメンター研修について

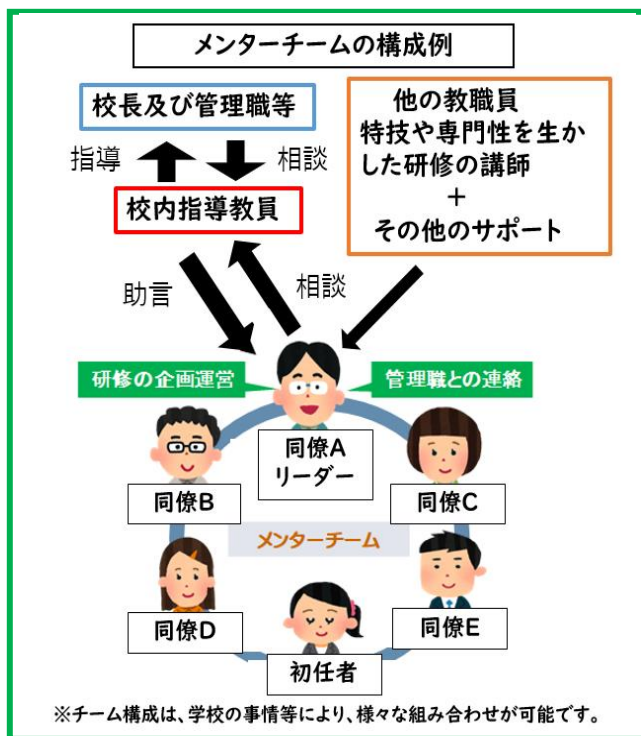
初任者研修におけるメンター研修とは、初任者を含む若手の教職員と経験のある様々な立場の教職員がチームを作り、協議や実習等を行う中で、互いの資質・能力を高める人材育成システムです。メンター研修を行うことで教職員の関係が深まり、同僚性や学校チーム力の向上につながります。

【メンター研修の取組例】

体育の指導についてのメンター研修として、「投運動の上手な指導」として、実技講習を交えたメンター研修が企画されました。

時間：16時10分～16時45分

- 1 困っていること、相談タイム
- 2 投運動についての体育実技講習
- 3 振り返りとシェア



子ども教育相談室の御紹介

子ども教育相談室では、「子ども教育・子育て相談」として、乳幼児から高校生までの教育や子育てに関する相談に対応しています。今年度も「子ども教育相談カード」を県内の各学校・園に配布しました。是非、御活用ください。

子ども教育・子育て相談
0270-26-9200

月曜日～金曜日 9:00～17:00
第2・4土曜日 9:00～15:00
(祝日・年末年始等は除きます)

発達遅れや就園・就学
学校・園での生活や学業
いじめや不登校 生活習慣や子育て など

来所相談も
行っています

〒372-0031 伊勢崎市今泉町1丁目233-2
群馬県総合教育センター 子ども教育相談室



いじめに悩んだら、
心配な友達がいたら、
いつでも相談してください。



24時間子供SOSダイヤル
0120-0-78310

24時間通話料無料 ひとりで悩まないで
今すぐ相談してね。
☆保護者の方も、相談できます

「子ども教育・子育て相談」について
電話相談・来所相談・訪問相談（発達相談のみ）を実施しています。
来所相談は予約制ですので、事前に上記電話番号へ御相談ください（通話料は有料です）。

「24時間子供SOSダイヤル」について
いじめに関する緊急の相談や子供のSOS全般に対応するため、24時間、通話料無料で相談を行っています。
保護者の方も相談することができます。

子ども教育相談室における来所相談について

「子ども教育相談室」では、不登校や生活リズムの乱れなどの教育相談、子供の発育・発達などの発達相談、子育て・保育相談を来所相談として行っています。また、臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士の相談も受け付けています。子供への関わり方等について、一緒に考えたり、それぞれの立場から専門的なアドバイスを受けたりすることができます。

毎月第2・第4土曜日には、言語聴覚士による「ことばの発達土曜相談」を行っています。

臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士への相談は事前予約が必要です。希望される方は、上記電話番号(0270-26-9200)にお問い合わせください。

来所相談の開催日等の詳細については、当センターWebページの「子ども教育相談室」を御覧ください。

【<https://center.gsn.ed.jp/sodan>】

来所相談についてのごお願い

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、1日の来所相談数を制限しています。来所時は受付にて、御家族の健康状態や感染流行地域への訪問歴等を確認させていただいております。

また、相談時は、マスクの着用をお願いいたします。

御理解と御協力をお願いいたします。

よろしく願います



【不登校児童生徒・保護者への支援に自立支援アドバイザーを派遣いたします】

自立支援アドバイザー2名が要望に応じて教育支援センター（適応指導教室）を訪問いたします。福祉や医療等に関わる専門的な知見をもつアドバイザーが児童生徒の実態に合わせて支援や助言を行います。詳細については、子ども教育相談室（0270-26-9217）にお問い合わせください。

「第19回 ぐんま教育賞 杉の子賞」の募集

本賞は、教職員から群馬県の教育の向上に関する考え方や取組を募集するとともに、寄せられた教育の向上に関する提言やアイデアを共有し、広報活動を行うことで、群馬県の教育力向上を目指すことを目的としています。

○募集内容

- ・教育の向上に関する考えや実践・研究等について論文形式でまとめてください。

○対象

- ・県内の幼児教育施設・小学校・中学校・高等学校・中等教育学校
特別支援学校・大学等教育関係機関に勤務する教職員

○賞（各部門ごと）

- ・最優秀賞 1編（賞状・図書カード2万円分）
- ・優秀賞 若干編（賞状・図書カード1万円分）

○募集期間

- ・令和3年8月30日（月）～10月8日（金）必着

○応募方法

- ・郵送又は電子メール

○その他

- ・ワープロソフト等で作成をお願いします。
- ・A4判（1枚40字×45行）で10枚以内とします。

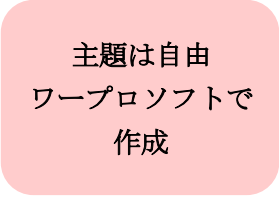
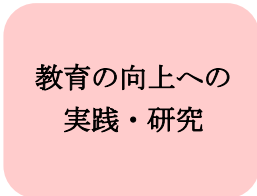
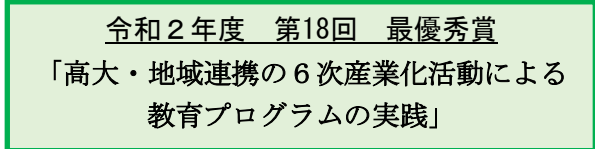
タイトル 12ポイント MSゴシック体

サブタイトル 10.5ポイント MSゴシック体

本文

- ・10.5ポイント MS明朝体
- ・項立て、箇条書きなどを取り入れ、読みやすさを重視してください。
- ・図、表、写真などを入れて全体のレイアウトを工夫してください。
- ・肖像権、著作権等に十分配慮してください。

たくさんの応募を
お待ちしております。

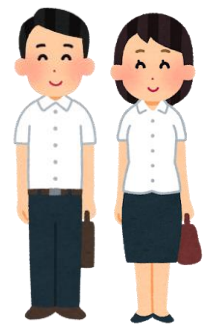


【送付・問い合わせ先】
 群馬県総合教育センター内 ぐんま教育賞募集事務局
 〒372-0031 伊勢崎市今泉町1-233-2
 TEL : 0270-26-9214 (直通) Fax : 0270-26-9222
 URL : <https://center.gsn.ed.jp/kyoikusho> e-mail : g-kyoikusho@edu-g.gsn.ed.jp

当センターへ来所される方へ

省エネ・節電に取り組んでいます。

- ◆冷房は、天候に応じて弾力的な運転を行っています。
10月までの期間に来所される際は、クールビズでの来所をお願いします。



交通事故防止に御協力をお願いします。

- ◆当センターには、毎日多くの方が車で来所され、駐車場を利用されます。
センター敷地内を車で通行する際は、車だけでなく歩行者にも注意していただき、交通事故防止に御協力をお願いします。

* 編集後記 *

通算28号となる「電子版センターだより」をお届けします。

新型コロナウイルス感染症が落ち着かない中ではありますが、国や県の動向、今日的な教育課題に対応した研修の充実、GIGAスクール構想の実現に向けた教職員の指導力向上を図るべく、研修を展開しております。今年度は特に、集合研修とオンライン研修を組み合わせたハイブリッド型研修を推進しており、感染状況が拡大傾向の場合には集合研修をオンライン研修に替え、皆さんのニーズに応えられる形態を整えられるように努めております。

必要な連絡、事前の講義等の資料提供は、当センターWebページにて随時案内していきますので是非、御確認ください。[\(https://center.gsn.ed.jp/\)](https://center.gsn.ed.jp/)

当センター2階のカリキュラムセンターでは、授業改善等に資する教育関係資料を豊富に取り揃えております。資料は貸し出すこともできますので、是非、御利用ください。(文：K・S)